

## FASID 奨学金プログラム 研究報告会のご案内

～ 発表テーマ～

### 移住・労働者送金が母国家計の資本投資に与える影響 バングラデシュをケーススタディーとして

世界の国際移民の総数は 2 億 3200 万人と推計され、海外就労する労働者からの送金(remittances) は開発途上国にとって重要な収入源となっている。その総額(年間)は、政府間援助(ODA)をはるかに上回る 4,000 億ドルに達しており、巨額の資金が開発途上国、主に労働者家族の家計に流れていることが分かる。本研究は、労働者送金が受給家計においてどのように消費・投資されているのか、家計の厚生を持続的に向上させるであろう人的、物的資本への投資支出について着目しながら、バングラデシュをケーススタディーとして解明することである。

報告者：吉川 愛子 FASID 奨学金プログラム (2期生)

政策研究大学院大学(GRIPS) 国家建設と経済発展プログラム (博士課程2年)

日時：2015年12月11日(金) 12:30～13:30 [12:00 会場 Open]

会場：FASID セミナールーム (東京都港区麻布台 2-4-5 メソニック 39MT ビル 6階)

地図 [http://www.fasid.or.jp/about/8\\_index\\_detail.shtml](http://www.fasid.or.jp/about/8_index_detail.shtml)

対象：本プログラムや発表テーマにご関心をお持ちの方はどなたでも出席頂けます。

参加費：無 料

【報告者略歴】(きっかわ・あいこ) 上智大学比較文化学部卒、オックスフォード大学院修士課程修了。NPO、地方自治体、及び国際機関(国際移住機関(IOM))での勤務を通じ、移住労働者の権利保護や移住と開発に関する事業に従事。2010年より政策研究大学院大学修士課程において開発学を専攻し、同大学博士課程に進学、労働者送金が開発にもたらす影響について研究を行っている。

【申込み・参加費】参加ご希望の方はお名前・ふりがな、ご所属を e-mail にて下記事務局へお送り下さい。参加無料・座席定員制・早目にお申込み下さい。昼食持参の方は会場で召し上がれます。

【FASID 奨学金プログラム】一般財団法人 国際開発機構(FASID)が、開発援助分野における高度なレベルの人材育成の促進に資することを目的として国内外の国際開発関連分野の大学院での学びに必要な経費を支援しています(日本人材対象)。受給終了後は報告会を開催し、研究活動や成果等について報告・発表の機会を設けております。この度の発表テーマに関心をお持ちの皆さま方のご出席を歓迎します。

[お問合せ・申込みは e-mail をご利用下さい]

一般財団法人 国際開発機構 FASID 奨学金プログラム事務局 (担当:服部)

e-mail: [gakui@fasid.or.jp](mailto:gakui@fasid.or.jp) / TEL:03-6809-1996 / FAX:03-6809-1387

東京都港区麻布台 2-4-5 メソニック 39MT ビル 6階

[http://www.fasid.or.jp/activities/3\\_index\\_detail.shtml](http://www.fasid.or.jp/activities/3_index_detail.shtml)

Foundation for Advanced Studies on International Development